

## ■ 平成 24 年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	1,292 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	10,123 点
	11,415 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲覧	利用者 延 4,750 人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (308 日間)	9,873	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別展 いせひでこ・ 絵本の世界 — 私の木、心の木 —	6/2(土) ～ 7/16(月) (39 日間)	3,252	『ルリユールおじさん』などの創作絵本や、宮沢賢治『水仙月の四日』などの挿絵で知られる札幌出身の絵本作家・いせひでこの近作絵本の原画を中心に、創作過程もあわせて紹介。
	ファミリー文学館 幻想文学館 — 文豪たちの こわ〜い話	7/27(金) ～ 8/26(日) (27 日間)	2,179	江戸時代から 1950 年代頃までの文豪たちによる怪談奇談をテーマに、日本三大怪談や主要な怪談小説集、代表的な短編小説、随筆などをわかりやすく紹介。
	特別展 新美南吉生誕 100 年 ごんぎつねの世界	9/8(土) ～ 10/21(日) (36 日間)	3,002	29 年の短い生涯に、『ごんぎつね』『てぶくろをかいに』をはじめ世代を超えて愛される名作を生み出した国民的童話作家・新美南吉の生誕 100 年を記念し、原稿、日記、書簡、遺品、挿絵原画などによって、その芸術を多角的に紹介。
	特別展 戦後北海道の演劇	11/2(金) ～ 12/16(日) (39 日間)	1,188	戦後を迎えてから本格的に始動した「北海道演劇」。地域に根ざした活動は、数多くの作品、公演を創り出してきた。プロの劇団やアマチュアの劇団、さらには学校演劇や人形劇など、多岐にわたる戦後北海道の演劇の広がりを紹介。
	特別展 高橋揆一郎の文学	1/31(木) ～ 3/24(日) (46 日間)	1,304	歌志内で抗夫の家に生まれた小説家・高橋揆一郎は、炭坑町などを舞台に北の人々の悲哀を語る、その独自のスタイルが注目され、「伸子」で第 79 回芥川賞を受賞した。その文学世界とともに、イラストレーター・漫画家としての一面も紹介。

#### 【常設展プレミアム】

「書物の美～明治・大正期の詩集」

4 月 20 日(金)～5 月 20 日(日) 27 日間 観覧者数 1,538 人

宮沢賢治、高村光太郎、萩原朔太郎の貴重な初版本や装幀の歴史の上でも「黄金期」と言われる明治・大正期の詩集を中心に、装幀の美しい本や珍しい本を当館所蔵品の中から展示し、書物の魅力を紹介。

#### 【文学館アーカイブ（新着資料）コーナー】

・第 1 期展示 [4 月 1 日(日)～6 月 30 日(土)]

来道俳人たちの足跡 — 河東碧梧桐と高浜虚子

河東碧梧桐、高浜虚子から来道俳人を紹介。

- ・第2期展示〔7月1日(日)～9月30日(日)〕

#### 与謝野鉄幹・晶子と北海道

歌人・与謝野鉄幹・晶子夫妻の北海道旅行で詠んだ印象的な句を紹介するとともに、当館所蔵の晶子自筆の「百首屏風」を紹介。

- ・第3期展示〔10月2日(火)～12月28日(金)〕

#### 小熊秀雄「文壇諷刺詩の世界」

小樽市生まれの詩人・小熊秀雄の「文壇諷刺詩」(自筆原稿)と当館所蔵の小熊秀雄資料を紹介。

- ・第4期展示〔1月4日(金)～3月31日(日)〕

#### 宇野千代の札幌時代

宇野千代が札幌時代に参加した自筆回覧同人誌「啓明」を中心に、札幌での文学的足跡を紹介。

## (2) 常設展の展示構成

### 〈北海道の文学、その歴史〉

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸子』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

### 〈北海道の詩〉

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河野文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

### 〈北海道の短歌〉

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、斎藤史、清原日出夫

### 〈北海道の俳句〉

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

### 〈アイヌの口承文芸〉

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

### 〈北海道の川柳〉

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

### 〈北海道の児童文学〉

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

### 〈千島・樺太の文学〉

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

### III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	備考
講演会・セミナー・講話等	ギャラリートーク「装幀にみる詩集の魅力」 講師：当館副館長	4/28(土)	40	34	「常設展プレミアム」関連事業
	製本ワークショップ 講師：田原ヒロアキ(製本作家)	5/12(土)	10	10	〃
〃	文芸講演会「人はみな心に一本の木をもっている」 講師：いせひでこ(絵本作家)	6/2(土)	80	90	「いせひでこ展」関連事業
〃	文芸講演会「大人の再生、こどもの成長」 講師：柳田邦男(ノンフィクション作家)	6/23(土)	80	84	〃
〃	ギャラリートーク 講師：いせひでこ	6/24(日) 2回実施	80	160	〃
〃	セミナー「怪談の世界」 講師：当館学芸主幹	8/4(土)		19	「ファミリー文学館」関連事業
〃	ギャラリートーク 講師：当館学芸主幹	8/5(日) 8/19(日)		37	〃
〃	ギャラリートーク 講師：遠山光嗣(新美記念館学芸員)	9/8(土)		38	「新美南吉展」関連事業
〃	ギャラリートーク 講師：当館学芸主幹、主任学芸員	9/15(土) 9/29(土)		20	〃
〃	新美南吉おはなし会 出演：トムテ、当館職員	9/17(月)		51	〃
〃	文芸講演会「新美南吉—その作品の世界」 講師：佐藤宗子(千葉大学教授)	10/6(土)	80	75	〃
〃	文芸講演会「北海道演劇と私」 講師：本山節彌(演出家)	11/3(土)	80	58	「演劇展」関連事業
〃	演劇フォーラム(4回実施)	11/11(日) 11/18(日) 11/25(日) 12/1(土)		98	〃
〃	ひとり芝居「八重のものがたり」 出演：「八重のものがたり」三人会	11/11(日)		107	〃
〃	演劇「オホーツクのわらすっこ」 出演：北翔大学舞台芸術コース	11/23(金) 2回公演		175	〃
〃	朗読劇「老船長の幻覚」 出演：菅村敬次郎	12/9(日)		63	〃
講演会・セミナー・講話等	ギャラリートーク 講師：平田修二(演劇財団理事)ほか	開催期間中毎土・日曜日(14回)		253	「演劇展」関連事業
	「札幌劇場祭」対談 出演：佐々木譲(作家)、橋口幸絵(劇団千年王国主宰)	12/2(日)		62	〃
	「札幌劇場祭」公開審査	12/2(日)		94	〃
〃	文芸講演会「高橋樗一郎と北海道」 講師：小樽山博(作家)	2/2(土)	80	68	「高橋樗一郎展」関連事業
※ 朗読会	「いせひでこ作品をチェロの調べにのせて」 朗読：田中隆子 チェロ演奏：坪田 亮	6/27(水)	80	81	
※ 〃	「新美南吉の世界」 朗読：澤井貴良子、村井裕子	9/14(金)	60	71	
〃	怪談朗読会 出演：ボランティア「蔵」	8/10(金) 8/14(火) 8/17(金)	120	216	「ファミリー文学館」関連事業
〃	「高橋樗一郎を読む」 出演：松井信子、渡辺良一、小幡孝宏	2013/1/31(木)		153	「高橋樗一郎展」関連事業
※ 月例朗読会	朗読：ボランティア「蔵」	年10回	200	427	
※ ウィークエンド・カレッジ	児童文学創作教室、朗読教室等 6講座 58講義	5～3月の金、土	300	445	
※ ロビーコンサート	フルート四重奏(演奏：札幌楽団員)	11/5(月)	60	34	
文学道場	「中・高生のための創作講座」	8/1(水)～3(金)	20	33	
小・中学生短歌コンテスト	夏休み期間中、小・中学生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰	7/1(日)～10/15(月)	1,500	4,666	
〃	作品を当展示室に展示	1/5(土)～1/20(日)		424	
〃	夏休み小・中学生短歌コンテスト表彰式	1/12(土)		58	
ファミリー文学館	ワークショップ「怪談ノート」	7/27(金)～8/26(日)		1,800	ファミリー文学館関連事業
※ わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	16回開催	700	722	
※ 文学館まつり	ギャラリ文学館、文学館演芸場、子ども広場、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(金・祝)	200	608	

教育普及事業

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	備考	
教育普及事業	映画鑑賞会	「父ありき」	5/6(日)	80	55	
	映画鑑賞会	「戸田家の兄妹」	7/1(日)	80	51	
	映画鑑賞会	「市民ケーン」	9/2(日)	80	64	
	映画鑑賞会	「風の中の牝雞」	11/4(日)	80	55	
	映画鑑賞会	「長屋紳士録」	1/20(日)	80	72	
	映画鑑賞会	「駅馬車」	3/3(日)	80	56	
	映画鑑賞会	「雨月物語」	8/19(日)		30	「ファミリー文学館」関連事業
	映画鑑賞会	「幸福の黄色いハンカチ」	2/24(日)		26	「高橋揆一郎展」関連事業
	市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。	32市町村 36会場	1,500	4,335	
	文字・活字文化の 振興事業	「漢字を嫌悪した中国人」 講師：武田雅哉(北海道大学教授)	10/21(日)	80	39	
	※ 文化施設連携事業	「カルチャーナイト2012」 展示室の夜間開館等を実施	7/13(金)	200	276	
	※ 文化団体連携事業	道民芸術祭「北を詠い描く」	1/16(水)～ 1/27(日)		545	
	※ 地域連携事業	中島公園クイズウォークラリー	5/3(木)～5(土)		304	
	※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	300	1,359	
	文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(308日間)	4,000	4,750	
	文学愛好団体の 活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(308日間)		1,992	
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(308日間)		305		
教育普及事業参加者 計			10,330	25,648		

#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 常設展プレミアム「書物の美」関連資料調査
- ② 特別展「いせひでこ展」関連資料調査
- ③ ファミリー文学館「怪奇幻想文学館 文豪たちのこわーい話」関連資料調査
- ④ 特別展「新美南吉展」関連資料調査
- ⑤ 特別展「戦後北海道の演劇展」関連資料調査
- ⑥ 特別展「高橋揆一郎展」関連資料調査
- ⑦ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑧ 次年度の常設展プレミアム関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「紙芝居の今昔」関連資料調査
- ⑩ 次年度ファミリー文学館の関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「挿絵が僕らにくれたもの展」関連資料調査
- ⑫ 次年度の特別展「ほっかいどうの短歌100首展」関連資料調査
- ⑬ 次年度の特別展「荒巻義雄の世界展」関連資料調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに共催名義の使用を承認して支援した。

- ① 木暮浩史ギターリサイタル実行委員会  
木暮浩史ギターリサイタル  
(平成24年4月21日 北海道立文学館地階ロビー)
- ② フレット倶楽部  
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるコンサート  
(平成24年4月28日、8月31日、10月27日 北海道立文学館地階ロビー)
- ③ 中川町教育委員会  
斉藤茂吉記念第19回中川町短歌フェスティバル 中川町)
- ④ 北海道学校図書館協会  
柳田邦男講演会  
(平成24年6月24日 道新ホール)
- ⑤ 藤井浩ギターコンサート実行委員会  
藤井浩ギターコンサート  
(平成24年7月7日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ ボランティアグループいろいろばた

- いろいろばたの大人が楽しむおはなし会  
(平成24年7月8日、平成25年3月24日 北海道立文学館講堂)
- ⑦ 益田展行ギターコンサート実行委員会  
益田展行ギターコンサート  
(平成24年9月8日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑧ Birobidzhans コンサート実行委員会  
クレズナマーと世界の音楽  
(平成24年9月29日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑨ ディオ・エスペランサコンサート実行委員会  
ディオ・エスペランサヴァイオリン&ギターコンサート  
(平成24年10月13日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑩ 益田正洋ギターコンサート実行委員会  
益田正洋ギターコンサート  
(平成24年11月3日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑪ つむぎびと  
3.11を忘れない音楽と語りのつむぎらいぶ  
(平成24年11月10日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑫ 特定非営利法人絵本児童文学研究センター  
第17回文化セミナー「こどもの時間・おとなの時間」  
(平成24年11月18日 小樽市民会館)
  - ⑬ 北海道文化団体協議会  
平成24年度道民芸術祭「北を詠い描く Vol. II」  
(平成25年1月16日～27日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑭ 竹形貴之ギターコンサート実行委員会  
竹形貴之ギターコンサート  
(平成25年2月15日 北海道立文学館地階ロビー)
  - ⑮ チャリティー朗読会「連声」実行委員会  
チャリティー朗読会「連声」  
(平成25年3月8日 北海道立文学館講堂)
  - ⑯ 細井 智ギターコンサート実行委員会  
細井 智ギターコンサート  
(平成25年3月28日 北海道立文学館地階ロビー)

## VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、JR札幌駅、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催をPRするため、新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第89号(6月1日付)、第90号(9月6日付)、第91号(11月28日付)、第92号(2月27日付)を発行した。

## VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「戦後北海道の演劇展」図録の刊行
- ② 特別展「高橋揆一郎の文学展」図録の刊行
- ③ 「平成23年度年報」の刊行

## VIII その他の付帯事業

- ① 「北海道文学大事典」(補遺版)の編集作業  
標記補遺版(人名編)発行のための編集作業を行った。この作業は平成25年度も継続して行う。
- ② 博物館実習生の受入  
博物館実習生－7名(受入期間 6月～11月。実習期間 2週間)